

# 日経「星新一賞」グランプリに関元聡氏

## ジュニア部門は本宮笙太氏

理系的発想力を問う文学賞、日経「星新一賞」(主催:日本経済新聞社)の第10回受賞者が以下の10名に決定しました。第10回は2022年6月1日から9月30日まで応募を受け付け、応募作品は一般部門編、ジュニア部門編で、総数は第9回の2,603より164編多い2,767編でした。今回より学生部門は一般部門に統合しました。AIによる創作と認められた作品は、前回の114から32編となりました。一般部門の関元聡氏は昨年に続き2年連続のグランプリ受賞となりました。

### 【一般部門グランプリ】

関元聡(せきもと・さとし)氏

「楢円軌道の精霊たち」

〔あらすじ〕温暖化により水没の運命にあったプアプア島は、軌道エレベーターの発着基地として買収され、島民のいない死の島と化していた。亡き妹の人格データを連れてエレベーターの先端部を訪れたカジは、VRで再現された村祭りの最中、創世神話のように島を釣り上げる守り神ティキの姿を見る。仮想の島民たちの祈りとともにエレベーターは牽引システムが暴走し、ケーブルが断裂。先端部は地球の重力を離れ、永遠に太陽を巡る浮沈の島となる。

### 【ジュニア部門グランプリ】

本宮笙太(もとみや・しょうた)氏

「電動と手動」

〔あらすじ〕今から100年後の未来、技術の進歩によりなんでも自動になった世の中。美枝(主人公)もそれらを駆使していた。しかし、突然家中が停電し全機構がストップした。なのに全く驚かず彼女が向かったのは…。

### 【一般部門優秀賞(東京エレクトロン賞)】

井本尚登(いもと・なおと)氏 「エターナル・エンプレス」

**【一般部門優秀賞（アマダ賞）】**

亀山建太郎（かめやま・けんたろう）氏 「五億年越しのパートナーシップ」

**【一般部門優秀賞（旭化成ホームズ賞）】**

青庭遠（あおにわ・はるか）氏 「春発つ日」

**【一般部門優秀賞（図書カード賞）】**

木口まこと（きくち・まこと）氏 「おじいちゃんの樹」

**【ジュニア部門準グランプリ】**

中川泰明（なかがわ・やすあき）氏 「future candy communication」

**【ジュニア部門優秀賞】**

小林航介（こばやし・こうすけ）氏 「ゆきとどいた人生」

**【ジュニア部門優秀賞】**

宮下ぴかり（みやした・ぴかり）氏 「エピローグ」

**【ジュニア部門優秀賞】**

山崎真晴（やまさき・まはる）氏 「小腹ガム」

**【日経「星新一賞」について】**

星新一氏が残した創造性あふれる作品は、現実の世界で科学に取り組む人たち、未来を創ろうとしている人たちを刺激してきました。日経「星新一賞」は形式やジャンルにとらわれない理系的な発想力、想像力を問う新しい文学賞として2013年に創設。SF作家・SF評論家による複数の予備審査の後、最終審査を経て、このたび受賞者を決定しました。第10回の最終審査員は野口聡一氏（東京大学特任教授・宇宙飛行士）、合原一幸氏（東京大学特別教授・名誉教授）、池澤春菜氏（声優・文筆家）、美村里江氏（俳優・エッセイスト）、白井弓子氏（漫画家）、滝順一（日本経済新聞社編集委員）の6人で、一般部門グランプリは賞金100万円。受賞作は3月上旬以降、電子書籍サイト「honto」で配信予定です。（無料。利用登録が必要）

※詳細は日経「星新一賞」公式ウェブサイト <https://hoshiaward.nikkei.co.jp/>

※第1回～9回受賞作品集も「honto」で無料配信中(利用登録が必要)

---

**日本経済新聞社について**

日本経済新聞社は1876年以来、140年以上にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は164万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は93万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

**本件に対する問い合わせ**

日本経済新聞社 広報室 [TEL:\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)